

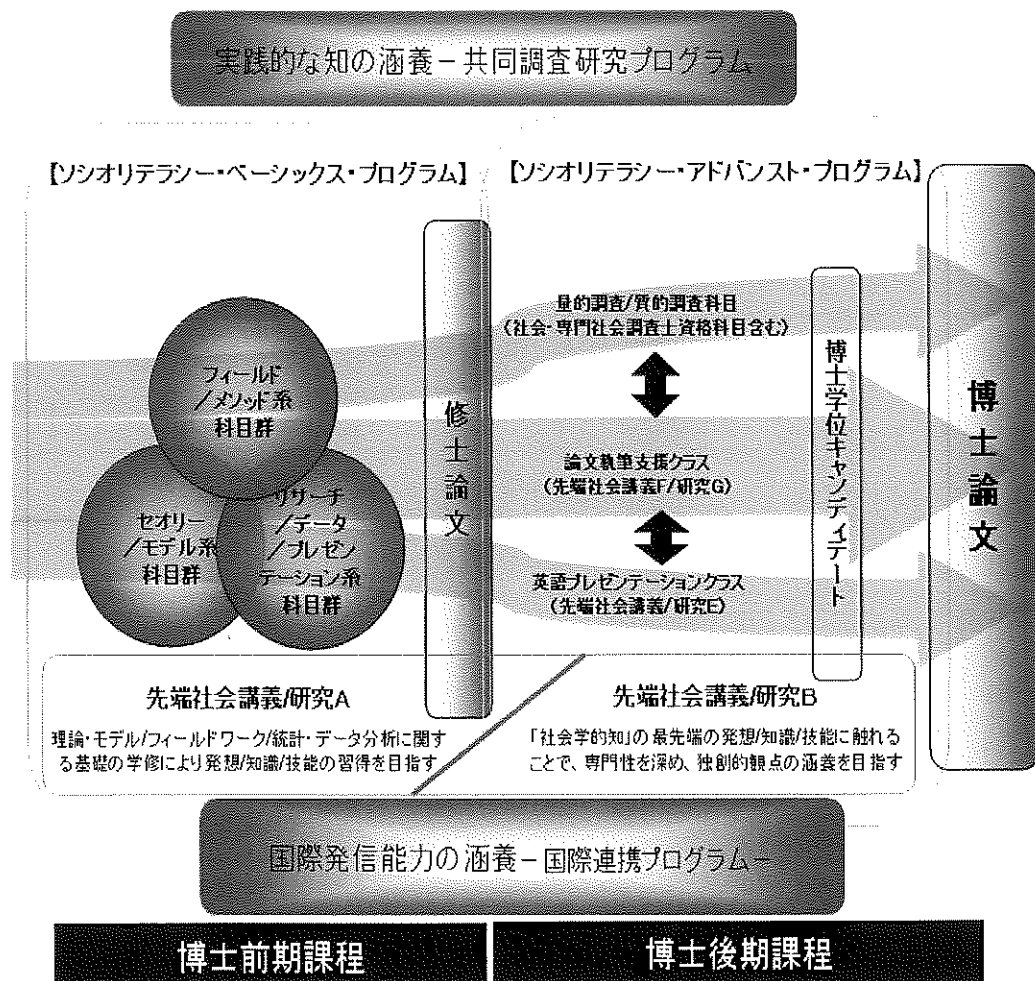
社会学研究科 カリキュラムポリシー

社会学研究科では、ソシオリテラシーの習得を目的として、「セオリー/モデル」(社会学理論講義、社会心理学講義等)、「フィールド/メソッド」(社会文化資源学、社会史等)、「リサーチ/データ/プレゼンテーション」(データ論、社会統計学等)の3つの系を設けている。

受講者は、これらの系の知識を螺旋状に基礎的なものから発展的なものへと幅広く習得しながら、所属する社会学研究演習において、それらを応用的に発展させる高度な能力を身につける。

また、本研究科の特色として、大学院生が主体的に参加できるオプションプログラムが用意されている。

カリキュラム/プログラム体系図



前期課程（社会学専攻アカデミックコース）

特定の領域・方法に偏ることなく社会的ならびに社会心理学的発想の基礎を幅広く習得するための科目群（社会学理論講義、社会心理学講義、文献講読、先端社会講義等）と、より専門的な科目群（社会学特殊講義、社会学説史特殊講義等）を配置している。指導教員および副指導教員の社会学研究演習において、個別のテーマや研究領域に即した探求方法を習得するとともに、その成果を修士論文にまとめるための技能を習得する。

前期課程（社会学専攻専門社会調査士コース）

社会調査の技能と分析能力を習得するため、社会調査に関する科目群（調査企画演習、フィールドワーク演習等）、分析の方法に関する科目群（調査統計演習、統計解析演習等）を、順次性を配慮しつつ配置している。指導教員の社会学研究演習において、個別のテーマや研究領域に即した探求方法を習得するとともに、その成果を修士論文にまとめるための技能を習得する。

後期課程（社会学専攻）

個別の専門領域を深めるとともに多様な専門領域を相互に関連づける知識を習得する。社会学研究演習において、博士学位取得の目標を明確にし、主体的に研究を立案、遂行、発表しながら、最終的に博士論文を執筆する能力を習得する。

前期課程・後期課程を通じてのオプションプログラム

大学院生の研究に対する主体的ニーズに応えるために、論文執筆クラスや英語プレゼンテーションクラス等を、オプションプログラムとして配置している。また、大学院生は、共同調査研究プログラム（院生会が中心になって立案・実施）や国際発信・国際連携プログラム（ドイツ日本研究所での研究会、国立オーストラリア大学のセミナー等）に自主的に参加することによって、多様な専門的知を社会へと開いていく実践的技術を習得する。